

国立病院機構熊本医療センター

くまびょうNEWS



新年のご挨拶

新年明けまして、おめでとうございます。

旧年中は、登録医の先生方をはじめ、医師会および歯科医師会の皆さまには、多大なるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

長かった自粛生活を終え、今年こそは、穏やかで、憂いなし、活動的な年になれば良いなと思っています。そこで、外来診療も入院療養も面会も、コロナ以前の状態にすべて戻すことにしました。

ご紹介いただきました患者さまやそのご家族には、診療の合間に、展望レストラン、喫茶ドトール、焼きたてパン屋、売店ローソン、広い患者図書室などでくつろいで頂き、お帰りの際は、シャト

国立病院機構熊本医療センター

院長 たか はし たけし 高橋 毅



ルバスで、サクラマチや鶴屋デパートまでお送り致します。

当院は「救急医療」と「がん診療」を柱にしておりますが、より質の高い医療サービスを提供するために、登録医の先生方、地域の医療機関との連携をさらに強化し、地域医療に貢献できますよう努力してまいる所存です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

特集

新年のご挨拶

- 院内医学会プログラム
- VOICE
- くまびょう TOPICS
- 研修医レポート
- 研修のご案内
- 外来担当医名簿





新年のご挨拶

副院長

ひだか みちひろ
日高 道弘

明けましておめでとうございます。旧年中も皆様には変わらぬご支援をいただき、誠にありがとうございました。ここ3年余りは何をすることもコロナの影響を考えずにはいられませんでした。5類引き下げも相まってやっと以前の日常が戻ってきた気がしております。コロナ期間に得られた経験、例えば感染対策やWeb会議などは、今後もうまく利用して参りたいと思っています。さて本年4月にはいわゆる「医師の働き方改革」が本格始動いたします。職員が伸び伸びと仕事ができる環境づくりを心掛けて参ります。また地域の皆さまのご期待に応えられますよう、引き続き質の高い安全な医療を目指してまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



新年のご挨拶

副院長

みやなり のぶとも
宮成 信友

新年あけましておめでとうございます。

ようやくコロナも収束し、以前のようにインフルエンザが流行するような状況になりました。そのような状況下で昨年度も皆様のおかげで、診療実績を維持できたことに感謝申し上げます。これからも診療体制の充実を図り、高度で質の高い医療を提供できるように努めて参ります。また、皆様方からの患者様のご紹介があってはじめて、健全な経営が保てます。これまで同様にご協力よろしくお願ひ申し上げます。

さて、本年4月から医師の働き方改革が施行されます。昨年度より、診療体制の維持・向上はもちろんのこと働き方改革に向けての取り組みを行ってまいりました。当院でも就業管理システムを導入し、時間外労働等の把握、整備を行っております。時間外労働の削減には、医師を増員できれば効果的ですが、現状で一定レベルの医師の確保、増員は現実的ではありません。地域、病院間で連携しながら対応する必要があると思っています。

今後も診療体制の維持・向上と皆様方との医療連携が円滑に行えるように精進してまいります。本年もどうぞご支援よろしくお願ひ申し上げます。



新年のご挨拶

看護部長

うちの
内野 かおり

新年のご挨拶を申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

昨年までの COVID-19 一色から、行動制限緩和により以前の日常生活や経済活動などを少しずつ取り戻しつつあります。看護部も様々な行事やイベントの再開により、職員間のコミュニケーションを取り戻し普通の日常の喜びを体感しております。しかし、いつの日か発生すかも知れない新興感染症に備え、幾たびかの苦い経験を無駄にせず準備しておかなければならぬと肝に銘じております。

ロシア、ウクライナ紛争など不安定な世の中ではありますが、当院が果たすべき地域の役割を全うできるように努めていく所存です。この1年が皆様にとって心穏やかに過ごせることを心から祈念しております。



新年のご挨拶

事務部長

まきの いさお
牧野 功

あけましておめでとうございます。

お正月は、ゆっくりと休むことができましたでしょうか。

昨年は、皆さまのご協力により、当院は健全経営を行うことができました。また、新型コロナが5類感染症へ移行し、4年ぶりに宿泊研修や開放型協議会、二の丸会を再開でき、火の国祭りに初参加するなど多くの行事をつつがなく終えることができました。これもひとえに皆さまのご理解と多大なるご支援のおかげと感謝いたします。

本年も職員一丸となり力を合わせて頑張っていきます。引き続きよろしくお願いいたします。



新年のご挨拶

薬剤部長

みなもと やすのり
湊本 康則

新年あけましておめでとうございます。
います。

昨年は令和5年7月2日（日）に第37回臨床薬理セミナーをテーマ「災害時、医療人のあなたにできること」でハイブリット形式での開催ができました。自衛隊熊本地方協力本部、熊本県病院薬剤師会、熊本県薬剤師会、熊本市薬剤師会の皆さんには感謝申し上げます。

西原村と美里町で「薬の飲み方」の出前講座を行えました。年明けには芦北町で行う予定です。薬剤師は、医薬品の適正使用に貢献し、患者さんの安心・安全を確保することが果たすべき使命です。薬剤師教育にも力を入れ、薬剤師としての職能を発揮し、社会に貢献できるよう努力していきます。

本年も何卒宜しくお願い致します。



新年のご挨拶

臨床研究部長・地域医療研修センター長

とみた まさお
富田 正郎

新年あけましておめでとうございます。
います。

昨年はゴールデンウィーク明けから新型コロナウイルス感染症が5類に変更され、次第に社会はコロナ前の状況に戻って参りました。

当院ではコロナ禍の中や働き方改革の中にあっても多くの職員が英語論文を投稿し、アクセプトされアクティブに臨床研究活動を行って参りました。

今年も臨床研究部は、さらに治験の推進や臨床研究の推進に努めて参りたいと存じます。

地域医療研修センターの研修活動につきましても、令和6年は一部を除いて全面的に対面開催に戻し、コロナ前の研修参加者数に戻るよう努力します。

令和6年が皆さま方にとって幸多い年となりますよう御祈念申し上げます。



新年のご挨拶

統括診療部長・地域医療連携センター長

きくかわ ひろあき
菊川 浩明

新年あけましておめでとうございます。
います。

統括診療部長（地域医療連携センター長、泌尿器科部長兼任）の菊川です。新年を迎え開放型病院登録医の先生方に一言ご挨拶申し上げます。

私の仕事の最重要課題は、登録医の先生方に、いかに多くの患者様を当院にご紹介頂けるかにあります。そのためには、各診療科の診療内容や新技術の紹介はもとより、開業医の先生方に当院の登録医になって頂けるように最新の院内情報を発信して行く事も必要ではないかと考えています。今年度は満を持して手術支援ロボットダビンチ Xi を導入しましたので、外科・泌尿器科・婦人科をはじめ適応のある外科系診療科に広げていく予定です。登録医の先生方には患者様紹介という形で、ぜひ当院のダビンチ立ち上げにお力添えいただければ幸いです。医療連携に関しては、現時点で1767名もの登録医の先生方がいらっしゃいます。引き続き私どもの力強い味方となって頂けるように、紹介頂きました患者様はしっかり治療して逆紹介するという病診連携の基本をさらに推し進めて参ります。

今年もどうぞ宜しく願いいたします。



新年のご挨拶

救命救急部長

さくらい としひろ
櫻井 聖大

新年あけましておめでとうございます。
います。

旧年中は救命救急センターと集中治療室の運営に格別のご高配を頂き、誠にありがとうございます。皆様を支えて頂き、無事に1年間、重症患者様の診療を全うすることが出来ました。心より感謝申し上げます。

新年度からは医師の働き方改革の影響で、時間外の救急患者の増加が懸念されます。

これからも、あらゆる重症患者様や緊急を要する患者様、病態が多岐にわたる患者様等を可能な限り受け入れ、最善な治療を提供できるように病院を挙げて頑張って参ります。

皆様に信頼され、選んでいただける病院を目指し、職員一同精進して参りますので、今後とも御指導・御鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

第29回 国立病院機構熊本医療センター医学会プログラム

令和6年1月20日(土)

開会の辞
8:05~

高橋 毅 (国立病院機構熊本医療センター 院長)

一般演題Ⅰ「外科系」
8:10~9:31

座長: 小澄 敬祐 先生 (熊本大学医学部附属病院 消化器外科特任助教)
青木 大輔 (国立病院機構熊本医療センター 7東病棟看護師長)

- I-1 傍椎体腫瘍の1例
放射線科 吉村文博 伊藤加奈子 神戸あゆみ 井上聖二郎 浅尾千秋
富高悦司 吉松俊治 根岸孝典
- I-2 頭頸部表在癌に対する内視鏡治療(ELPS)21例の報告
耳鼻咽喉科¹⁾ 消化器内科²⁾ 寺田夕希¹⁾ 上村尚樹¹⁾ 松山太一²⁾
- I-3 高用量デノスマブ投与による薬剤関連顎骨壊死の発症リスクについて
歯科口腔外科 村井健太郎 谷口広祐 上田夏野 藤原裕也 中尾美文 天本晋輔
中川文雄 森久美子 中島 健
- I-4 下肢の回旋アライメントの検証
整形外科 大島慶久 福元哲也 前田 聡 中馬東彦 福田和昭
寺本周平 満瀬葉介
- I-5 胆のう十二指腸瘻による腸閉塞を来した2例
外科 榮永悠大 丸野正敬 椿原拓樹 松石 梢 中村健一 東 孝暁
松本克孝 岩上志朗 水元孝郎 久保田竜生 宮成信友
- I-6 スレッドリフト術を施行後に浅側頭動脈に生じた仮性動脈瘤の1例
形成外科 堺 菜穂 大島秀男 東野哲史 蓮田敏也
- I-7 Schwannomaによる肝内胆管閉塞に起因する肝炎症性偽腫瘍の一例
外科 三戸哲朗 松石 梢 椿原拓樹 丸野正敬 中村健一 東 孝暁
岩上志朗 松本克孝 水元孝郎 久保田竜生 宮成信友
- I-8 2回の生検と培養検査で診断に至った固定型スポロトリーコースの1例
皮膚科¹⁾ 臨床検査科²⁾ 千葉大学真菌医学研究センター³⁾ 中原智史¹⁾ 哈 斯塔¹⁾ 石橋卓行¹⁾ 牧野公治¹⁾ 原 和幸²⁾
矢口貴志³⁾
- I-9 両側横静脈洞の上下に渡り急性硬膜外血腫を認めた1例
脳神経外科 田嶋恒三 伊東山剛 中川隆志 大塚忠弘

一般演題Ⅱ「内科系」
9:32~10:53

座長: 宮里 賢和 先生 (熊本大学医学部附属病院 腎臓内科助教)
飛松 典子 (国立病院機構熊本医療センター 6西病棟看護師長)

- II-1 ビスフォスフォネート製剤が奏功したびまん性硬化性骨髄炎
総合診療科 久保崎順子 吉村文孝 國友耕太郎 辻 隆宏
- II-2 精神科医が自死遺族に急性期の心理的ケアを行った二例
精神科 島本祐希 眞名子瞳 木下 總 橋本 聡
- II-3 甲状腺プレクリーゼに加え無顆粒球症を併発した若年女性の一例
糖尿病・内分泌内科 最勝寺美美 井手口拓弥 西田周平 木下博之 西川武志
- II-4 腹水を契機に診断された好酸球性胃腸炎の1例
消化器内科 野上光一朗 神尾琢克伸 山本祐弥 佐々木大亮 楠本周平
向坂健佑 松山太一 石井将太郎 中田成紀 杉 和洋
- II-5 肝生検で急性肝炎から慢性化への経過を追うことのできたC型肝炎の1例
消化器内科 山本 亮 田中愛美 佐々木大亮 山本祐弥 楠本周平
向坂健佑 松山太一 石井将太郎 中田成紀 杉 和洋
- II-6 当院における研修医のインシデントレポートの現状と分析 ~過去3年間のレポートから~
研修医¹⁾ 医療安全課課長²⁾ 麻酔科³⁾ 中村洋平¹⁾ 伊藤明香¹⁾ 式地優樹¹⁾ 沖田典子²⁾ 瀧賢一郎³⁾
- II-7 初発時に白血病浸潤による著明な腎腫大を認めた急性リンパ性白血病の2例
血液内科 中村暢希 古川翔大 坂田宗一郎 中村貴久 神谷千晴
杉谷浩規 窪田 晃 原田奈穂子 河北敏郎 日高道弘
- II-8 同種造血幹細胞移植にトキソプラズマ感染症を併発した成人T細胞白血病・リンパ腫の一例
血液内科 田口拓渡 杉谷浩規 坂田宗一郎 古川翔大 中村貴久
神谷千晴 窪田 晃 原田奈穂子 河北敏郎 日高道弘
- II-9 脳梗塞との鑑別を要した高齢MELAS(ミトコンドリア脳筋症)
脳神経内科 高松孝太郎 津田麻友美 津田幸元 小阪崇幸 幸崎弥之助 田北智裕

一般演題Ⅲ「コメディカル①」

10:54～11:48

座長：榮木大輔（国立病院機構熊本医療センター 眼科部長）

村上寿一（国立病院機構熊本医療センター 理学療法士長）

- Ⅲ-1 当院ドクター秘書の現状と今後の課題
統括診療部ドクター秘書¹⁾ 竹下喜代美¹⁾ 林田しのぶ¹⁾ 原 向見¹⁾ 敷島真由美¹⁾ 淵上幸恵¹⁾
統括診療部²⁾ 吉村保美¹⁾ 金子 歩¹⁾ 菊川浩明²⁾
- Ⅲ-2 暴力、衝動行動が予測される入院患者に対する連携体制の課題
医療法人寺尾会 寺尾病院 地域医療連携室 宮城陽子 大村香織
- Ⅲ-3 当院の運転外来相談窓口の果たす役割
医療法人桜十字 桜十字病院 宮川 怜
リハビリテーション部 作業療法士
- Ⅲ-4 当院における大腿骨近位部骨折患者の特徴
リハビリテーション科 三輪栄太郎 榮 彩人 今村健二 松本恭平 米田奏子
久保田啓太 宮本弘太郎 村上寿一 前田 智
- Ⅲ-5 医療用テレメーターの電界強度チェックを実施して
臨床工学部門 富永圭一 脇坂祐合 古瀬文音 清元 玲 久原亮希
松下尚暉 森永良和 佐藤朋哉 竹本勇介 荒木信裕
- Ⅲ-6 妊娠糖尿病患者における20歳からの体重増加量と妊娠中インスリン使用量は関連する
栄養管理室¹⁾ 糖尿病・内分泌内科²⁾ 山下晶穂^{1) 3)} 加來正之¹⁾ 中川聡華¹⁾ 宮田 萌¹⁾ 井上聡美¹⁾
熊本大学大学院 医学教育部臨床国際協力学³⁾ 最勝寺芙美²⁾ 井手口拓弥²⁾ 西田周平²⁾ 木下博之²⁾ 西川武志^{2) 3)}

昼 食 (11:48～12:20)**一般演題Ⅳ「コメディカル②」**

12:20～13:14

座長：吉井隆一（国立病院機構熊本医療センター 腎臓内科医師）

齋藤巨樹（国立病院機構熊本医療センター 副薬剤部長）

- Ⅳ-1 小児とがん領域へのカウンセリング～心理療法士の新たな取り組み～
精神科 心理療法士 濱野 学 山村佳乃子
- Ⅳ-2 亜鉛検査の院内導入に関する報告
臨床検査科 田中麻梨乃 宮園彩楓 荒木玲美 材津桃果 毛利大輝
橋本規雅 広瀬亮介 井田博之
- Ⅳ-3 全国のNHO施設を対象とした肝炎対策推進に関するアンケート調査
臨床検査科 橋本規雅 宮園彩楓 荒木玲美 田中麻梨乃 材津桃果
毛利大輝 広瀬亮介 井田博之
- Ⅳ-4 胸部X線画像病変検出ソフトウェアの試験運用に関する報告
放射線科 山田拓哉 木原 聡 井手口大地 長岡里江子 有迫哲朗
- Ⅳ-5 メロペネム供給制限が感染症治療に与えた影響の調査
薬剤部 坂口美也子 山田政典 宮田拓周 吉原涼子 松下馨介
稲田夏実 齋藤巨樹 小園亜希 湊本康則
- Ⅳ-6 イサツキシマブ投与速度指示テンプレート導入後の評価
薬剤部 山口成美 平池美香子 馬場結子 齋藤巨樹 小園亜希 湊本康則

一般演題Ⅴ「看護・看護学校」

13:15～14:09

座長：松尾和美（国立病院機構熊本医療センター 副看護部長）

市場美織（国立病院機構熊本医療センター附属看護学校 教員）

- V-1 救命救急センターに勤務する看護師のワーク・エンゲイジメントの実態
看護部 救命救急センター 上田緋沙美
- V-2 特定行為研修修了者による継続的な介入により人工呼吸器からの離脱に成功した1例
看護部 CCU¹⁾ ICU²⁾ 松尾僚太¹⁾ 前川友成²⁾
- V-3 中堅看護師が就業継続する要因の実態調査
看護部 5南病棟 清永倫望 中村保香 西野一史 工藤なぎさ 深川千晶
- V-4 COVID-19 クラスター発生時対応の振り返り～病床管理と経営の視点より～
看護部 前田志穂 益田洋子 南利朱美 安藤内美 内野かおり
- V-5 看護師の看護実践活動の評価～卒業後1年目から3年目の看護師の看護実践活動に焦点をあてて～
附属看護学校 黒木智鶴 高木佳寿美
- V-6 看護学生に対する複数受け持ちシミュレーションの学習効果
附属看護学校 高木佳寿美 吉竹あゆ 黒木智鶴

総評・閉会の辞

14:10～

日高道弘（国立病院機構熊本医療センター 副院長）

VOICE

登録医の声



くまもとブレスト
クリニック

院長 いぶすき むつこ
指宿 睦子



◆貴院のアピールをお願いします

今年4月に城東町のグランガーデンビル（電気ビル）にて開業いたしました。お隣にフォーシーズンズレディースクリニックさん、お向かいに小山内科さん、オクス通り入口側の2階のフロアになります。私は今年47歳、1994年（平成6年）人吉高校卒、2000年（平成12年）熊本大学医学部卒です。卒業後、熊本大学第一外科教室に入局し臨床研修期間を経て、熊本大学病院乳腺・内分泌外科で大学院含め16年ほど勤めました。最後の数年は、医局長や准教授として働かせていただきました。その後3年ほど慈恵病院（西区）、東病院（南区）、比企病院（東区）など、長年地域の乳がん検診・女性医療に貢献されてこられた病院で勤務させていただき、開業に至りました。当院の特徴は、女性乳腺専門医が院長であること、3Dマンモグラフィによる検診ができること、吸引式組織生検（10G、12G）を主体とした精密検査を行っていることです。

◆先生の趣味を教えてください

ドライブ、ピアノ、ヨガ、宅飲み、など、生活の一部に趣味をとりこんでいます。子供が2人おり、中高生ではありますが、まだ子育てまっさかりです。子供のいる生活になって以来15年たちました。仕事と家事のパフォーマンスをどうやって上げるかを追求した趣味となっています。ドライブは、子供の送迎のため、ピアノは、子供と一緒に習って教養が深まりました。ヨガは乳がんの患者様のQOLを上げるというエビデンスから始めました。ヨガと宅飲みで、更年期まっただなかの自分を吹き飛ばし、朝食とお弁当と夕食を作りながらQOLが上がるのを待っているところです。

◆当院へのご要望をお聞かせ下さい

大学病院勤務時代より、貴院外科・放射線治療科と連携させていただいており大変お世話になっております。開院したての小さなクリニックですが、乳腺専門の施設としてお見知りいただき、貴院と連携して住民の皆様や職員の皆様の健康に貢献できればと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。



【診療科目】

乳腺外科

【診療受付時間】

午前 9:00～12:00

午後 14:00～17:00

木曜、土曜診察日の午前は9:00～13:30

【休診日】

日曜・祝日

第1、3木曜、および第2、4、5土曜は休診
（休診日は変動します）

【住所】

〒860-0846 熊本県熊本市中央区城東町4番7号
グランガーデン熊本ビル2階（ホテルキャッスル隣）

【TEL】

096-312-2566

【FAX】

096-312-2567

【HP】

<https://kumamoto-breast-clinic.com/>



くまびょう TOPICS

12/10(日) | 令和5年度 公開肝臓病教室が
開催されました。

薬

【筆者】副薬剤部長：小園 亜希

令和5年12月10日、「公開肝臓病教室」を開催しました。



今回の公開肝臓病教室は、「もっと知りたい

肝臓の話 ～肝臓で広がる地域の和～」をテーマとして、医師による「肝疾患について最新の話題」、薬剤師より「肝臓病の治療薬」、看護師より「肝臓病患者の生活の注意点」、そして、管理栄養士より「肝臓病と栄養」についての4講演を行いました。講演中は、参加者の皆様の熱心なまなざしが印象に残りました。

それに加えて、本県内在住の方にB型肝炎とC型肝炎の無料検査の実施や、各医療スタッフによる医療・健康相談コーナー等の幅広い内容で開催しました。相談コーナーではさまざまな質問をいただき、また、アンケートでは、たくさんのご意見をいただき、私どもスタッフにとっても勉強になり、大変有意義な時間となりました。

世界保健機関（WHO）は、平成23年に世界的レベルでウイルス性肝炎の蔓延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消や感染予防の推進を図ることを目的として、7月28日を” World Hepatitis Day（世界肝炎デー）”と定め、肝炎に関する啓発活動等の実施を提唱しています。また、平成20年度より国と地方自治体主

導で肝疾患対策の取り組みが始まり、肝炎総合対策としてウイルス肝炎公費助成制度や肝疾患拠点病院を中心とした肝疾患診療ネットワークの整備が進められました。当院は県央ブロックの地域中核病院として、かかりつけ医との医療連携を緊密にするとともに地域住民の啓発活動を行う役割を担っています。今回、肝臓病の正しい知識の普及および啓発活動の一環として、患者や市民、保険医療福祉関係者などに肝臓病治療に関する最新情報を提供するため、熊本県肝疾患診療連携拠点病院（熊本大学病院）や熊本県、熊本市をはじめ熊本市医師会、熊本県医師会、熊本県看護協会、熊本市薬剤師会の協力や後援を得て、この「公開肝臓病教室」を実施することができました。

COVID-19感染症の影響で4年ぶりの開催となりましたが、参加者53名と多くの市民の皆様にご参加いただき、肝臓病について学んでいただけたものと思います。今後も地域の方々が安心して暮らせるよう、また、“肝臓病の患者様や肝臓に関心のある方”にとって正しい理解につながるよう肝臓病についての情報発信を行っていききたいと思います。

今回ご参加いただいた方々、年末ご多忙の中、「公開肝臓病教室」にお越しいただきありがとうございます。

【場所】地域医療センター



Medical Intern Report 研修医レポート

臨床研修医

やまもと
山本
りょう
亮



はじめまして。研修医1年目の山本亮と申します。熊本医療センターで初期臨床研修を開始し、早くも7ヶ月が経ちました。日々の診療にも慣れ始め、入職当初のように慌てふためくことは少なくなりましたが、本当に医師として成長出来ているのか自問自答する毎日です。日々の業務に慣れたためそつなくこなせるようになった、それを自分の成長だと勘違いしてしまわないようにしなければならぬと日々感じています。

私の研修生活は救急科から始まりました。熊本医療センターは熊本県内で3カ所指定されている救命救急センターの一つで、最重症の病態や疾患（心肺停止・ショック・外傷・熱傷・中毒・熱中症 / 低体温症など）に24時間365日対応しています。その中で研修医1年目は基本的に救急搬送されてきた患者さま

の初期対応を担っています。初期対応で大切なことは、「緊急度」を把握することです。短時間で異常の全体像を感じとり、周りの医療スタッフや上級医と共有して指示を受けながらチームで初期診療にあたります。なんだか文字に起こすとかっこよく見えますが、実際は上級医はもちろんのこと、周りのコメディカルの方々に支えられながら、なんとか診療を行っています。いつも感謝しかありません、ありがとうございます。その一方で、なにも1人では出来ない無力さに嫌気がさして、やる気が落ちてしまうこともあります。私はそんな時恩師に教えてもらったこの言葉を思い出します。「患者さまには君たちと同じように守るべき家族や、この上なく愛しく思っている人がいます。」このことを忘れずに日々、資質・能力の向上に努め、尊敬の念と思いやりの心を持って診療にあたりたいと思います。

今後も様々な場面でご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、頑張っていきたいと思います。これからもよろしくお願いたします。

歯科臨床研修医

むらい けんたろう
村井 健太郎



こんにちは。研修医の村井健太郎と申します。4月からここ熊本医療センターの歯科口腔外科にて研修を始めさせていただきました。早いもので11月となりました。

歯科の研修は一時的に耳鼻科や皮膚科、形成外科に出向して研修を受けることもあります。基本的には歯科口腔外科の中で1年間研修を受けていくことになります。

歯科研修医の主な業務として診療中の補助以外に、手術のある日は助手として手術の介助に入り、水曜と金曜はそれぞれ症例検討会と翌週の症例に対するカンファレンスの準備及び記録を行い、その他写真の電子カルテへの取り込みや退院サマリーの立ち上げ等を診療後や空いた時間に行っています。

入った当初は担当の先生について診療時の器具出しや片付けから始まりましたが、先生方から電子カルテでの処方や各種オーダーの出し方、紹介状に対する返書の書き方等を丁寧に教えていただきながら少しずつできることを増やしていった最中です。また歯科医師としての手技も結紮・縫合・骨削除等の手法について練習のやり方や実践でのコツを懇切丁寧に教えていただき、更なる向上を目指して研鑽に勤しむ毎日です。

出来るが増えるにつれて、忙しさも増えてきて時には疲れがたまって家に帰った瞬間にベッドに突っ伏す時もありますが、厳しくも優しい先生方に囲まれて充実した日々を過ごさせていただいております。これからもどうぞよろしくおねがいします。

2024年1月 研修のご案内

二の丸モーニングセミナー

日時▶1月4・11・18・25日(木) 8:15～8:45
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール

第144回 国立病院機構熊本医療センター クリティカルパス研究会

日時▶1月10日(水) 17:30～18:30
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール

第68回 診断と治療—最新の基礎公開講座— [日本医師会生涯教育講座2.5単位認定]

日時▶1月13日(土) 15:00～17:30
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール

「アレルギー性鼻炎 その診断と治療

～患者さんの快適な明日のために for comfortable living～

座長 くまもと令和クリニック 院長

田中英一 先生

(1) アレルギー性鼻炎の手術療法

唐木クリニック 院長

唐木 将行 先生

(2) アレルギー性鼻炎の薬物療法

なかの耳鼻咽喉科アレルギー科クリニック 理事長

中野 幸治 先生

(3) アレルギー性鼻炎の免疫療法

定永耳鼻咽喉科クリニック 院長

定永 恭明 先生

第298回 月曜会(内科症例検討会)

[日本医師会生涯教育講座 1.0 単位認定]

日時▶1月15日(月) 19:00～20:00
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修室 2

1 救命救急からの一例 2 総合診療科からの一例

第29回 国立病院機構熊本医療センター医学会

日時▶1月20日(土) 8:05～14:10
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール

小児科火曜会【WEB配信あり】

日時▶1月23日(火) 19:00～21:00
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修室 1

熊本県臨床検査技師会・ 病理細胞部門【WEB】

日時▶1月25日(木) 18:30～20:00

研修へのお問い合わせはこちら
国立病院機構熊本医療センター
地域医療研修センター (096) 353-3515 (直通)

研修センター
QRコード▶



患者さまをお待たせしないために

ご紹介は、外来紹介予約センター

受付 平日 8:30 ~ 17:00

をどうぞご利用ください。

096-353-6565 096-353-6566

FAX 096-353-6563



熊本医療センター
地域医療連携センター長
菊川 浩明

令和6年1月外来担当医名簿

国立病院機構熊本医療センター



診療科		月	火	水	木	金	
総合医療センター (内科)	総合診療	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	
	血液	河北 敏郎 杉谷 浩規	原田 奈穂子 中村 貴久	古川 翔大 井上 佳子	日高 道弘 河北 健郎	原田 奈穂子 窪田 晃	
	糖尿病・内分泌	西川 武志 (午前新患) 西田 周平 (午前再診)	西田 周平 (午前新患) 西川 武志 (午前再診)	西川 武志 (午前新患) 井手口 拓弥 (午前再診)	木下 博之 (午前新患) 最勝寺 美美 (午前再診)	井手口 拓弥 (午前新患) 木下 博之 (午前再診)	
	呼吸器センター	名村 亮 原 英記 (院内コンサルト)	小野 宏 熊大医師 (院内コンサルト)	小野 宏 原 英記 (院内コンサルト)	名村 亮 原 英記 (院内コンサルト)	小野 宏 原 英記 (院内コンサルト)	
	感染症内科		小野 宏	小野 宏		小野 宏	
	腎センター (腎臓内科)	梶原 健吾	吉井 隆一	中村 朋文	東 大樹	富田 正郎	
	腫瘍内科		榮 達智	榮 達智 磯部 博隆	境 健爾 (第1・第3・第5木曜のみ)	榮 達智	
消化器病センター (消化器内科)	診察	1 診	石井 将太郎	杉 和洋	杉 和洋	向坂 健佑	
		2 診	松山 太一	中田 成紀	石井 将太郎	中田 成紀	
		3 診	山本 祐弥	向坂 健佑	佐々木 大亮	楠本 周平	佐々木 大亮
	内視鏡	午前	中田 成紀 向坂 健佑 佐々木 大亮	松山 太一 佐々木 祐弥 山本 祐弥	松山 太一 山本 祐弥 楠本 周平	中田 成紀 石井 将太郎 向坂 健佑	石井 将太郎 山本 祐弥 楠本 周平
		午後	中田 成紀 向坂 健佑 佐々木 大亮 楠本 周平	石井 将太郎 松山 太一 山本 祐弥 楠本 周平	中田 成紀 松山 太一 山本 祐弥 楠本 周平	中田 成紀 石井 将太郎 向坂 健佑 佐々木 大亮	石井 将太郎 松山 太一 山本 祐弥
		腹部超音波	杉 和洋	楠本 周平	向坂 健佑	山本 祐弥	杉 和洋
心血管センター (循環器内科)	新患	木村 優一 山村 智	奥野 佑樹 (隔週) 玉野井 俊介 (隔週)	片山 哲治	田山 信至	藤本 和輝	
	再来	田山 信至	藤本 和輝	山村 智	奥野 佑樹 玉野井 俊介 白尾 友宏	片山 哲治 木村 優一	
(心血管外科)		手術日	岡本 健	田中 睦郎		岡本 健	
精神・神経科	初めての方						
	2回目からの方						
小児科	診察	水上 智之	渡邊 優	水上 智之	水上 智之	渡邊 優	
	免疫	水上 智之		水上 智之	水上 智之		
	血液	石田 昌宏		横山 智美		石田 昌宏	
	アレルギー		渡邊 優		緒方 美佳		
外科		東 孝暁 日高 香織 (隔週)	水元 孝郎 松本 克孝 中村 健一	岩上 志朗	宮成 信友 松石 梢	久保田 竜生 丸野 正敬	
	脳神経センター (脳神経外科)	中川 隆志 大塚 忠弘	手術日	田嶋 恒三 大塚 忠弘	中川 隆志	伊東山 剛 大塚 忠弘	
(脳神経内科)	1 診	幸崎 弥之助	田北 智裕	高松 孝太郎	小阪 崇幸	津田 幸元	
	2 診	高松 孝太郎	小阪 崇幸	津田 幸元	幸崎 弥之助	田北 智裕	
	院内コンサルト	津田 (麻)	津田 (麻)	津田 (麻)	津田 (麻)	津田 (麻)	
整形外科	午前	福元 哲也 福田 和昭 寺本 周平	手術日	福元 哲也 前田 智 福田 和昭	手術日	前田 智 中馬 東彦	
	午後	福元 哲也 福田 和昭 寺本 周平		大島 慶久		満瀬 葉介 中馬 東彦	
泌尿器科	前田 喜寛 矢野 大輔	菊川 浩明 鮫島 智洋 村上 栄敏	担当医 (手術日) (紹介のみ)	前田 喜寛 矢野 大輔 東 俊之介	高橋 菊川 浩明 えりか / 担当医		
産婦人科	高木 瀬野 みか 優太郎	山本 直 杉野 麗花	手術日	高木 瀬野 みか 優太郎	山本 直 杉野 麗花		
感覚器センター (眼科)	榮木 大輔 幸野 理久 中西 美穂	(手術日)	榮木 大輔 幸野 理久 中西 美穂	(手術日)	榮木 大輔 幸野 理久 中西 美穂		
感覚器センター (耳鼻咽喉科)	手術日	上村 尚樹 寺田 夕希	手術日	担当医	上村 尚樹 寺田 夕希		
感覚器センター (皮膚科)	初診 (紹介あり)	中原 智史	牧野 公治	石橋 卓行	担当医 (手術日)	哈 斯塔 (ハスタ)	
	再診 (初診 その他)	中原 智史 石橋 卓行	牧野 公治 哈 斯塔 (ハスタ)	中原 智史 石橋 卓行		牧野 公治 哈 斯塔 (ハスタ)	
難治性皮膚疾患治療センター	月・水・木のみ、午前10時～、1日1例限定 詳細は、熊本医療センター皮膚科Webサイトをご覧ください。						
形成外科	(午後)	大島 秀男 (リンパ浮腫外来)	(午後)	担当医 (紹介のみ)	(午後)	(午後)	
	東野 哲志 堺 菜穂 蓮田 敏也			大島 秀男 東野 哲志 堺 菜穂 蓮田 敏也	大島 秀男 堺 菜穂 蓮田 敏也		
放射線科	治療 (予約制)	富高 悦司、吉村 文博					
	画像診断	根岸 孝典、浅尾 千秋、伊藤 加奈子、井上 聖二郎、神戸 あゆみ、吉村 文博、吉松 俊治					
麻酔科	宮崎 直樹 (術前診察/麻酔相談)					(午前のみ) 瀧 賢一郎 (麻酔相談)	
緩和ケア外来	磯部 博隆	磯部 博隆	磯部 博隆	磯部 博隆	磯部 博隆	磯部 博隆	
歯科 口腔外科	中島 健 谷口 広祐 天本 晋輔 上田 夏野	中島 健 谷口 広祐 (隔週) 中尾 美文 天本 晋輔 (隔週) 上田 夏野	谷口 広祐 天本 晋輔	健 広祐 谷口 中尾 天本 上田	中島 健 谷口 広祐 天本 晋輔 上田 夏野	中島 健 谷口 広祐 中尾 美文 天本 晋輔	
	櫻井 聖大 洪沢 崇行 橋本 聡 松本 克孝 國友 耕太郎 吉村 文孝 深水 浩之 杉野 大樹 大本 寛之 伊藤 明日香	櫻井 聖大 洪沢 崇行 橋本 聡 國友 耕太郎 久保崎 順子 深水 浩之 杉野 大樹 大本 寛之 伊藤 明日香	櫻井 聖大 洪沢 崇行 橋本 聡 松本 克孝 深水 浩之 文村 文彦 杉野 大樹 大本 寛之 伊藤 明日香	櫻井 聖大 洪沢 崇行 橋本 聡 松本 克孝 深水 浩之 文村 文彦 杉野 大樹 大本 寛之 伊藤 明日香	櫻井 聖大 洪沢 崇行 橋本 聡 松本 克孝 深水 浩之 文村 文彦 杉野 大樹 大本 寛之 伊藤 明日香	櫻井 聖大 洪沢 崇行 橋本 聡 松本 克孝 深水 浩之 宮内 大介 杉野 大樹 大本 寛之 伊藤 明日香	
救命救急センター	ストーマ		認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	
	がん看護	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	
看護外来	移植後フォローアップ	担当看護師	担当看護師	担当看護師	担当看護師	担当看護師	

(注) 担当医は都合により変更することがあります。 手術日はお待たせする場合がございますので、御了承ください。

R6/1/1